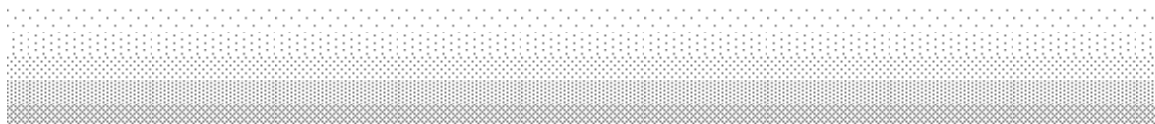


スマートコンセント



FX5204PS

クライアントソフトウェア 取扱説明書

03 版

FUJITSU

本書について

このスマートコンセント クライアントソフトウェア取扱説明書（以降、本書と略します）には、専用のクライアントソフトウェアを用いて、スマートコンセントに接続された機器の計測値を確認する方法について記載されています。

本ソフトウェアを使用する場合には、本書をよくお読みになり、正しく作業してください。弊社は、使用者および周囲の方々の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために、細心の注意を払っております。

本ソフトウェアおよび本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

商標について

本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® および ™ マークは省略しています。

本書は、富士通コンポーネント株式会社の著作物です。

本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

目次

1 クライアントソフトウェアについて.....	4
1.1 クライアントソフトウェアの起動	4
1.2 装置情報の表示	5
1.3 測定値の表示	6
1.4 波形の表示	7
1.5 ログの保存	9
1.6 複数のスマートコンセントの接続	11
1.7 コマンドラインオプションによる計測	12
1.8 本ソフトウェアのバージョン確認方法	13
2 製品サポートについて	14

1 クライアントソフトウェアについて

1 クライアントソフトウェアについて

クライアントソフトウェアを使用することにより、スマートコンセントに接続されている機器の消費電流、消費電力を確認することができます。下記の実行ファイルが本 Application フォルダ内に格納されています。

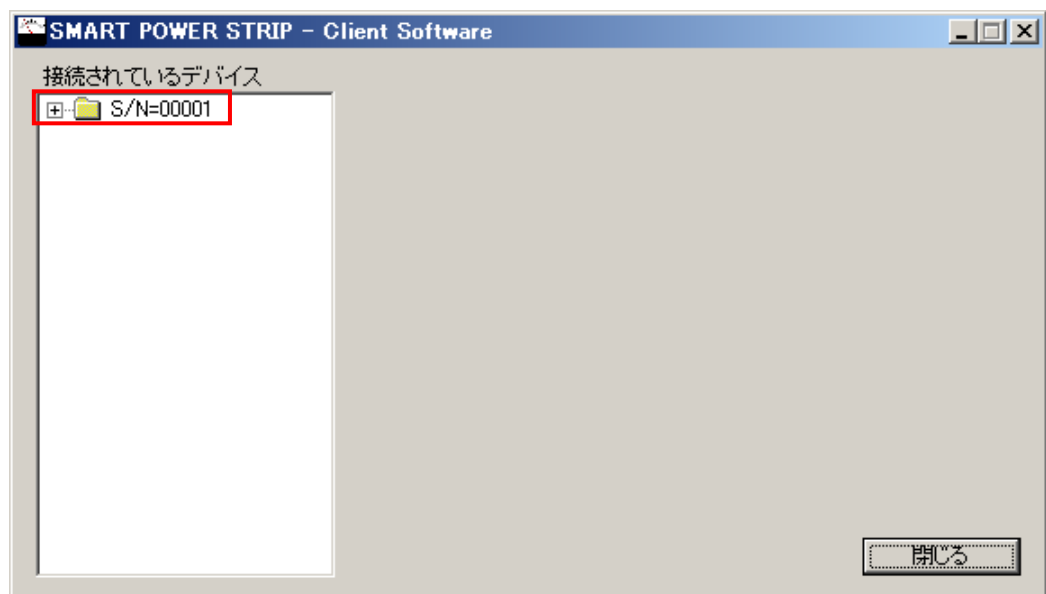
実行ファイル名: spsclient_V06L11.exe

重要

本ソフトウェアを実行するためには、デバイスドライバをインストールする必要があります。Driver フォルダ内の「スマートコンセント_デバイスドライバインストール手順書」をお読みになり、インストールを行ってください。

1.1 クライアントソフトウェアの起動

クライアントソフトウェアの起動および初期画面について、以下に示します。
spsclient.exe を実行すると下のようなウィンドウ画面が表示されます。スマートコンセントが PC に接続されていると “接続されているデバイス” リストにシリアル番号が表示されます。

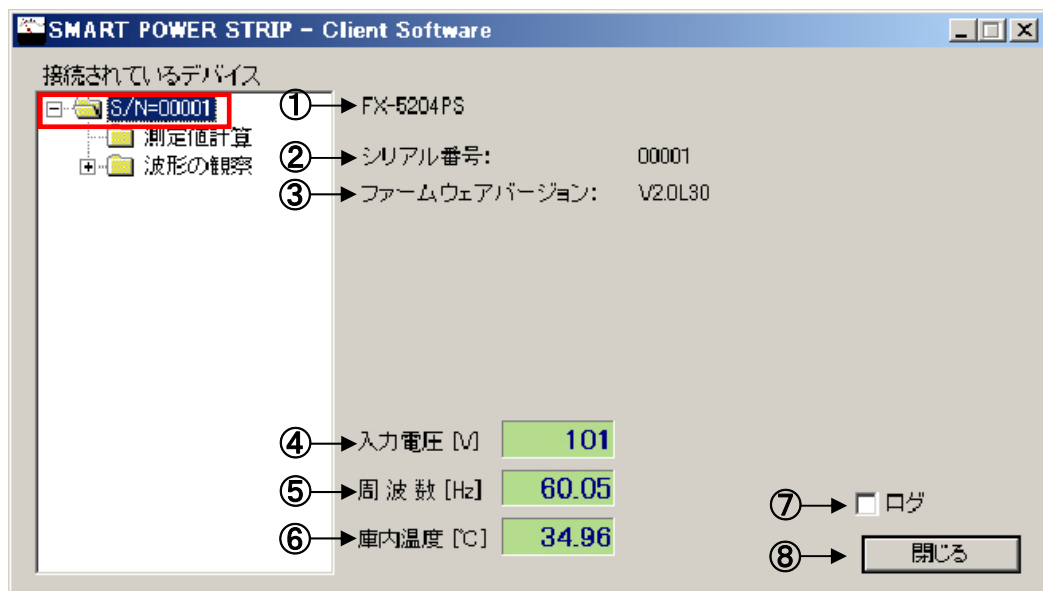


PC にスマートコンセントを複数台接続し、本クライアントソフトウェアで計測値を確認することができます。

1 クライアントソフトウェアについて

1.2 装置情報の表示

接続されているデバイスの表示領域において、「S/N=XXXXX」と登録されているデバイスの表示を選択すると、下のようにその装置情報が表示されます。



項	項目名	説明
1	型格	本装置の型格が表示されます。
2	シリアル番号	本装置のシリアル番号が表示されます。
3	ファームウェアバージョン	本装置のファームウェアバージョンが表示されます。
4	入力電圧	現在の入力電圧値(単位:V)を表示します。
5	周波数	現在の周波数(単位:Hz)を表示します。
6	庫内温度	現在のスマートコンセントの内部温度(単位:°C)を表示します。
7	ログ	このチェックボックスにチェックを入れると計測値がログ保存されます。 ログについての詳細は、下記をご参照ください。 参照 1.5 ログの保存 (10 ページ)
8	閉じる	このボタンをクリックすると本ソフトウェアは終了します。

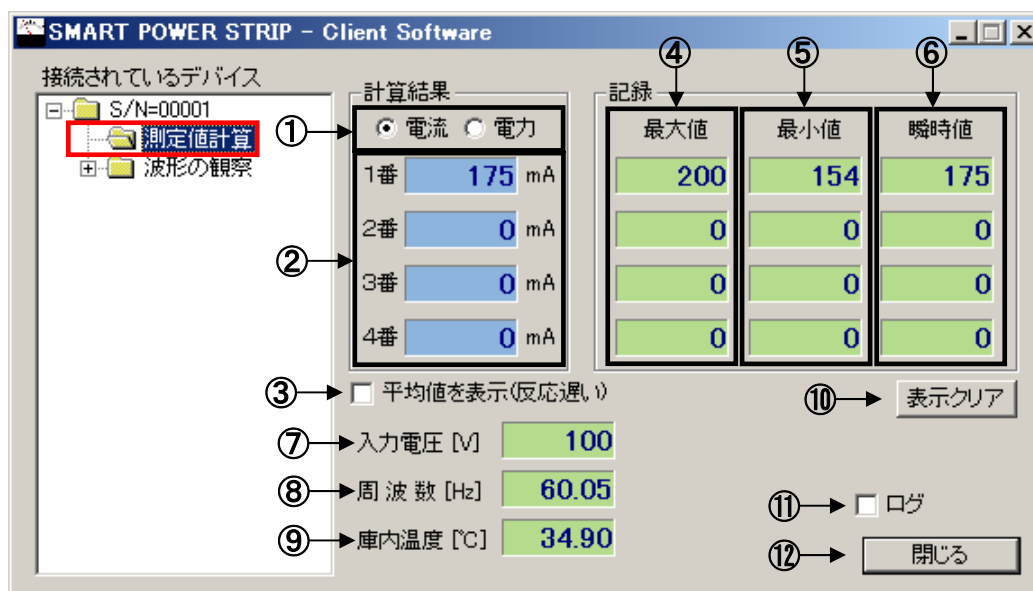
重要

ファームウェアのバージョンが、V2.0L30 であることを確認してください。ファームウェアがバージョン V2.0L30 でない場合は、「識別番号 smart-0003 スマートコンセントファームウェアバージョンアップ」よりダウンロードしバージョンアップを行なってください。
<http://www.fcl.fujitsu.com/support/smart-power-strip/>

1 クライアントソフトウェアについて

1.3 測定値の表示

接続されているデバイスの”測定値計算” を選択すると下のような画面になり、現在の測定値情報が表示されます。



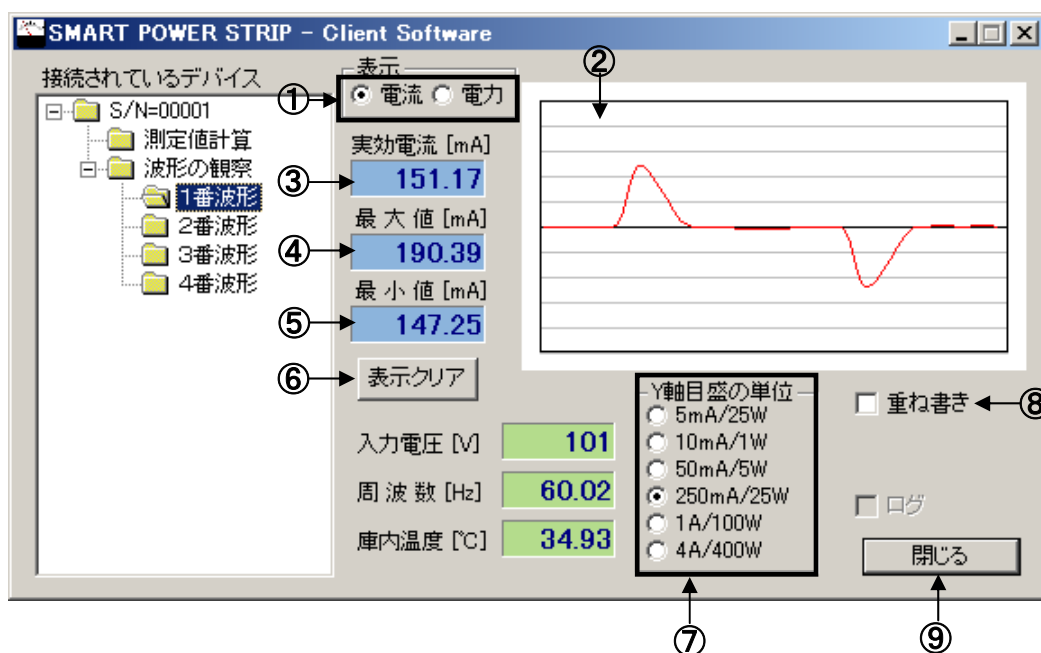
項	項目名	説明
1	計測種類	表示する計測値の種類を “電流”/“電力” から選択します。
2	計測値	コンセント 1 番から 4 番それぞれの計測値を表示します。 “電流” を選択している場合、現在の電流値(単位: mA)を表示します。 “電力” を選択している場合、現在の電力値(単位: W)を表示します。 「平均値を表示(反応遅い)」チェックボックスの状態によって表示内容が変わります。
3	平均値を表示 (反応遅い)	本チェックボックスの状態により、2 項の計測表示が切り替わります。 チェックが入っている場合、平均値が表示されます。 チェックが入っていない場合、瞬時値(現在の瞬間値)が表示されます。
4	最大値	本ソフトウェア開始あるいは、「表示クリア」ボタンをクリックしてからの計測値の最大値を表示します。 “電流” を選択している場合、電流値(単位: mA)の最大値を表示します。 “電力” を選択している場合、電力値(単位: W)の最大値を表示します。
5	最小値	本ソフトウェア開始あるいは、「表示クリア」ボタンをクリックしてからの計測値の最小値を表示します。 “電流” を選択している場合、電流値(単位: mA)の最小値を表示します。 “電力” を選択している場合、電力値(単位: W)の最小値を表示します。
6	瞬時値	現在の瞬間の値を表示します。 “電流” を選択している場合、電流値(単位: mA)の平均値を表示します。 “電力” を選択している場合、電力値(単位: W)の平均値を表示します。
7	入力電圧	現在の入力電圧値(単位: V)を表示します。
8	周波数	現在の周波数(単位: Hz)を表示します。
9	庫内温度	現在のスマートコンセントの内部温度(単位: °C)を表示します。
10	表示クリア	このボタンをクリックすると “最大値”、“最小値”、“平均値” の表示が 0 にリセットされます。
11	ログ	このチェックボックスにチェックを入れると計測値がログ保存されます。 ログについての詳細は、下記をご参照ください。 参照 1.5 ログの保存 (10 ページ)

1 クライアントソフトウェアについて

12	閉じる	このボタンをクリックすると本ソフトウェアは終了します。
----	-----	-----------------------------

1.4 波形の表示

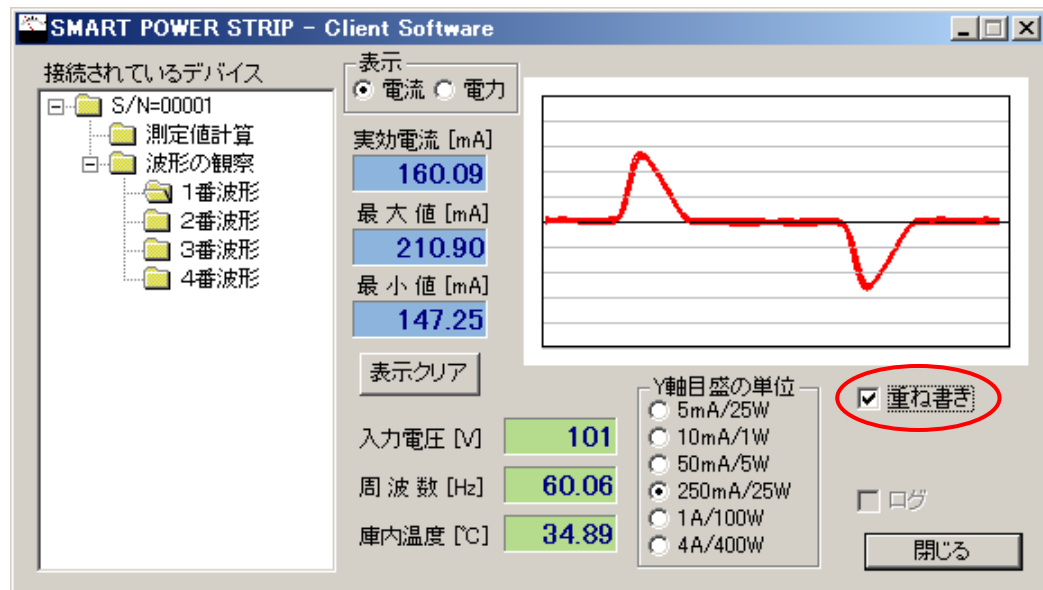
接続されているデバイスの”波形の観察”—”X 番波形”(Xにはコンセント番号が入る)を選択すると下のような画面になり、現在の波形がグラフ表示されます。



項	項目名	説明
1	波形種類	表示する波形の種類を “電流”/“電力” から選択します。
2	グラフ	1 項で選択した種類の現在の波形がグラフ表示されます。
3	実効電流 / 有効電力	現在の瞬時値を表示します。 “電流” を選択している場合、実効電流値 (単位: mA) を表示します。 “電力” を選択している場合、有効電力値 (単位: W) を表示します。
4	最大値	本ソフトウェア開始あるいは、「表示クリア」ボタンをクリックしてからの計測値の最大値を表示します。 “電流” を選択している場合、電流値 (単位: mA) の最大値を表示します。 “電力” を選択している場合、電力値 (単位: W) の最大値を表示します。
5	最小値	本ソフトウェア開始あるいは、「表示クリア」ボタンをクリックしてからの計測値の最小値を表示します。 “電流” を選択している場合、電流値 (単位: mA) の最小値を表示します。 “電力” を選択している場合、電力値 (単位: W) の最小値を表示します。
6	表示クリア	このボタンをクリックすると “最大値”、“最小値” の表示が 0 にリセットされます。
7	Y 軸目盛の単位	グラフ表示の Y 軸目盛の単位をラジオボタンで選択します。以下から選択することができます。計測値の波形に合った目盛単位を指定してください。 “5mA/25W”、“10mA/1W”、“50mA/5W”、“250mA/25W”、“1A/100W”、“4A/400W”。
8	重ね書き	チェックボックスにチェックを入れると波形を重ねて描画していきます。チェックを外すとその瞬間の 1 波形のみの描画を連続で行います。
9	閉じる	このボタンをクリックすると本ソフトウェアは終了します。

1 クライアントソフトウェアについて

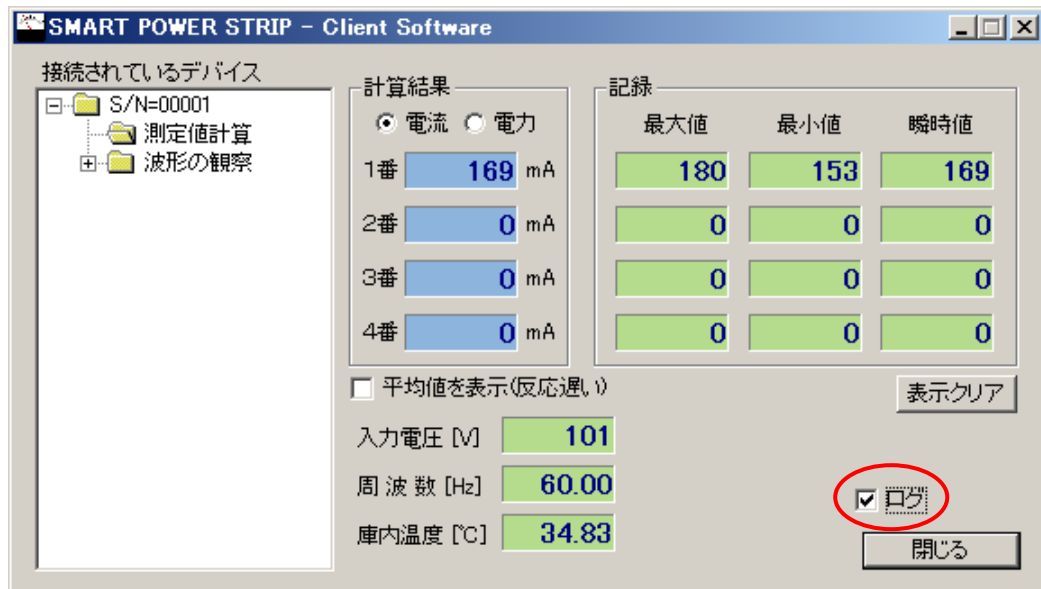
”重ね書き”チェックボックスにチェックが入っている場合、下のように波形が重ねて描画されていきます。



1 クライアントソフトウェアについて

1.5 ログの保存

測定値計算の表示において、“ログ”チェックボックスにチェックを入れると計測値がログ保存されます。



ログファイルは、クライアントソフトウェアの実行ファイルと同じフォルダ内に CSV 形式のファイルが作成されます。電流値と電力値の表示状態によって、それぞれの測定値を含むログファイルが作成されます。“電流”ラジオボタンが選択されている場合、電流値がログ保存されます。“電力”ラジオボタンが選択されている場合、電力値がログ保存されます。ログファイル名は、下記のような書式となります。

[電流値のログファイル]

<シリアル番号>_ALL_A_<西暦><月><日>_<時><分><秒>_<3桁数字>.csv

[電力値のログファイル]

<シリアル番号>_ALL_W_<西暦><月><日>_<時><分><秒>_<3桁数字>.csv

※<西暦><月><日>_<時><分><秒>には、ログ保存を開始した日時が入ります。

ログには約 1 秒間隔の計測値が記録されます（場合によっては、計測間隔が 2 秒以上になることがあります）。

クライアントソフトウェアを実行している間は、ログチェックを外したり、再度チェックを入れる場合も同一のファイルにログが保存されます。

1 クライアントソフトウェアについて

電流値を計測したログファイルの例を以下に示します。

```
hostname, FX-5204PS, , , , ,
MAC address, 00:00:00:00:00:00, , , , ,
IP address, 000.000.000.000, , , , ,
unit, electric ampere [A], , , , ,
, 000001, V2.0L10, , , , ,
date, state, ch1, ch2, ch3, ch4, V, Hz, Temp
2011/04/21 16:29:25, on, 0272, 0004, 0045, 0000, 102, 59.97, 31.83
2011/04/21 16:29:26, on, 0270, 0012, 0044, 0000, 102, 60.00, 31.87
: (途中省略)
2011/04/21 16:48:12, on, 0272, 0003, 0045, 0000, 103, 59.98, 31.85,
```

ログファイルの内容

項	項目名	説明
1	hostname	本装置の型格を示します。
2	date	計測日時を下記の書式で示します。 <西暦>/<月>/<日> <時>:<分>:<秒>
3	ch1	コンセント 1 の電流値/電力値を示します。
4	ch2	コンセント 2 の電流値/電力値を示します。
5	ch3	コンセント 3 の電流値/電力値を示します。
6	ch4	コンセント 4 の電流値/電力値を示します。
7	V	入力電圧の値を示します。
8	Hz	周波数の値を示します。小数点第二位まで。
9	Temp	本装置の内部温度を示します。小数点第二位まで。

ログファイルに保存された計測値は、「クライアントソフトウェア用 Excel テンプレート」を用いることにより、グラフ表示することができます。「クライアントソフトウェア用 Excel テンプレート」は、本 CD-ROM の Templates フォルダ内に格納されています。「クライアントソフトウェア用 Excel テンプレートの使い方」をよくお読みになり、ご利用ください。

1 クライアントソフトウェアについて

1.6 複数のスマートコンセントの接続

本ソフトウェアでは、最大 4 台までのスマートコンセントを PC に接続した状態で使用することができます。複数台のスマートコンセントが接続されている場合、“接続されているデバイス” の表示領域に台数分だけツリー表示されます。



👉 注意

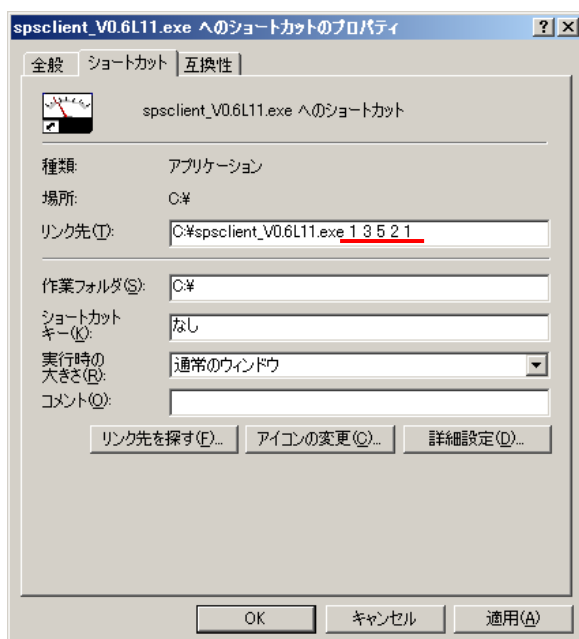
“ログ” チェックボックスにチェックが入っている状態において、異なるシリアル番号のスマートコンセントの「測定値計算」表示を交互に表示させるとその都度ログファイルが生成されます。

1 クライアントソフトウェアについて

1.7 コマンドラインオプションによる計測

本ソフトウェアは、5 つのコマンドラインオプションを指定して動作させることができます。
コマンドラインオプションを指定して実行する手順を以下に示します。

1. 実行ファイル: spsclient.exe を右ドラッグし、ショートカットを作成します。
2. ショートカットを右クリックし、プロパティを開いてください。
3. 下のようにプロパティウィンドウの「リンク先」テキストボックスの末尾に 5 つのオプションを入力し、(下の例では、" 1 3 5 2 1" と入力しています。)適用、OK ボタンをクリックして、プロパティウィンドウを閉じます。



4. ショートカットを実行すると、下記の条件で本ソフトは動作します。

項	説明
1 番目のオプション	接続されているスマートコンセントのシリアル番号を指定します。 例: 1 と入力すると シリアル番号 00001 を指定することとなります。
2 番目のオプション	ログファイルに計測値を書き込む周期(単位は秒)を指定します。 最大 3600 秒まで指定することができます。 例: 3 と入力すると 3 秒間隔で計測値をロギングします。
3 番目のオプション	ログファイル名称を更新する周期(単位は秒)を指定します。 最大 3600 秒まで指定することができます。 例: 5 と入力すると 5 秒間隔でロギングするファイル名を更新します。
4 番目のオプション	ログファイルのロギングの種類を指定します。 0 で、ロギングしない。 1 で、ロギングはするが、ログファイル名は固定する。 2 で、ロギングはするが、指定周期でログファイル名を変更する。
5 番目のオプション	計測モードを指定します。 0 で、電流計測モード 1 で、電力計測モード

注意

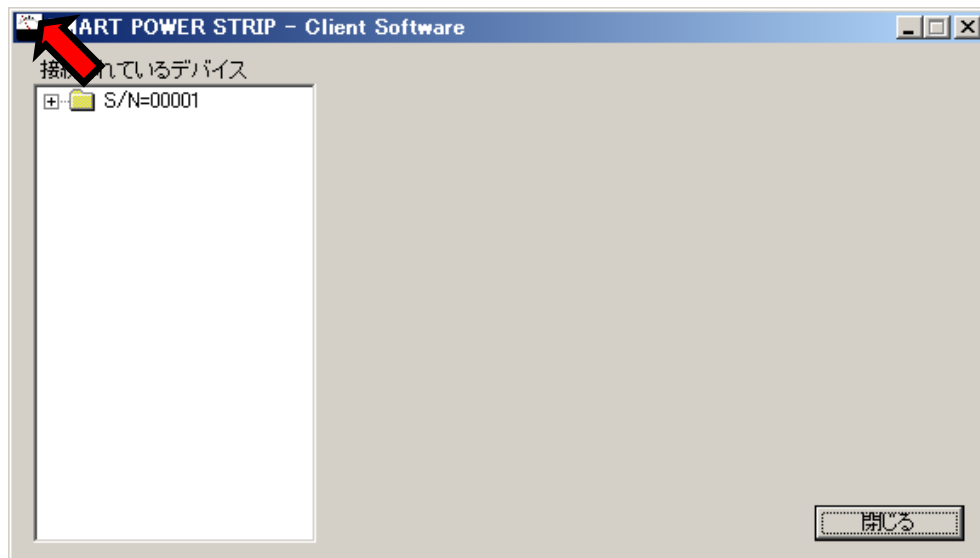
5 つのオプションは、どれも省略することはできません。省略は、誤動作の原因となります。

1 クライアントソフトウェアについて

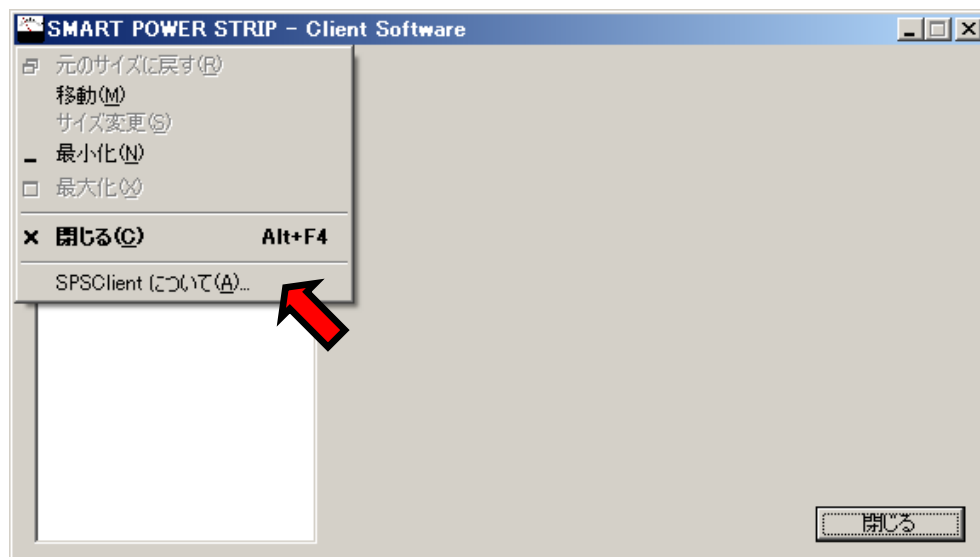
1.8 本ソフトウェアのバージョン確認方法

本ソフトウェアのバージョンを確認する方法を以下に示します。

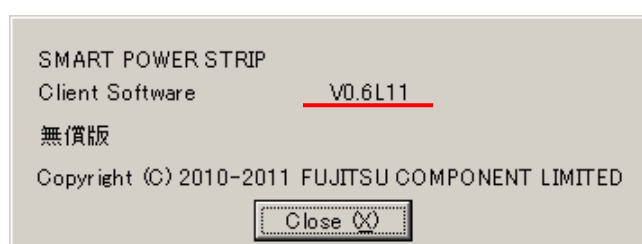
1. ウィンドウ画面左上のアイコンをクリックします。



2. 下のようにドロップダウンリストが表示されますので、「SPSCClient について」をクリックします。



3. 下のように表示され、本ソフトウェアのバージョンを確認することができます（下の例では、V0.6L11）。Close ボタンをクリックして、表示を閉じます。



2 製品サポートについて

2 製品サポートについて

<サポートに関するお問い合わせ>

e-mail: servis-center@fcl.fujitsu.com

<修理・不具合に関するお問い合わせ>

富士通コンポーネント お客様サービス&サポートセンター

TEL: 0120-810225 * 携帯, 自動車電話, PHS からもご利用になれます。

e-mail: servis-center@fcl.fujitsu.com

営業時間: 9:00~12:00、13:00~17:00 (土, 日, 祝祭日を除く)

<製品に関するお問い合わせ>

富士通コンポーネント株式会社

マーケティング統括部 第二マーケティング部

TEL: 03-5449-7006, FAX: 03-5449-2628

e-mail: promothq@fcl.fujitsu.com

ホームページ: <http://www.fcl.fujitsu.com/>

(ホームページ掲載版)

Copyright © 2011 FUJITSU COMPONENT LIMITED